

たかそう 連携だより

地域の先生方と
高崎総合医療センターを結ぶ



2024年発行
第206号
3月号



地域連携症例検討会

小児科 2

小児救急部長 五十嵐 恒雄

骨粗鬆症外来をはじめます 3

リハビリテーション科部長 新井 厚

診療科紹介
内分泌代謝内科 4

内分泌代謝内科部長 渋谷 信行

病棟紹介
救命救急センター 5

救命救急センター看護師長 木村 真弥

栄養サポートチームのご紹介 6

NST摂食嚥下チーム長(歯科口腔外科) 稲川 元明

緩和ケアニュース 7

リハビリテーション室だより 8

栄養だより 9

医師紹介コーナー 10

地域医療連携登録医のご紹介 11

セカンドオピニオンのご案内 12~13

外来診療担当表 14~15

院長閑話 16

くらぶち
小栗の里

撮影：患者サポートセンター 須賀 麻子

●地域医療支援病院 ●がん診療連携拠点病院

独立行政法人国立病院機構
高崎総合医療センター



〒370-0829 群馬県高崎市高松町36

代表 (TEL) 027-322-5901

URL <https://takasaki.hosp.go.jp/>

地域医療支援・連携センター(医療機関専用ダイヤル)

(TEL) 027-322-5835

(FAX) 027-322-5925

【理念】

患者さんから信頼される病院を目指します

【基本方針】

- 常に患者さん本位の医療を心がけます
- 研鑽に励み、安全で良質な医療を提供します
- 医療連携を積極的に推進し、地域医療に貢献します
- 良き医療従事者の育成に努めます
- 臨床研究を推進します
- 健全な病院経営を行います

【看護の理念】

人間の尊厳を大切にし、専門的な知識、技術を持ち、心のこもった看護を提供します

【患者さんの権利を守ります】

- 誰でも良質で安全な医療を受ける権利があります
- 患者さんの人格や価値観が尊重され、医療提供者との相互協力のもとで医療を受ける権利があります
- 病気、治療等について、十分な説明を受ける権利があります
- 他の医師の意見(セカンドオピニオン)を求める権利があります
- 病気等について十分な説明を受けたうえで、自分の意志で検査や治療方法を選択したり、他の医療機関を選択する権利があります
- 医療情報に関する個人のプライバシーが守られる権利があります

小児科領域疾患の診断と治療の連携

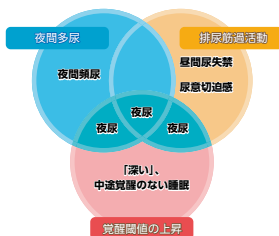
座長 重田 誠 先生 (重田こどもアレルギークリニック)

1月22日に開催の標記検討会では、座長に重田こどもアレルギークリニックの重田 誠 院長先生をお迎えし、小児科より2題のプレゼンテーションを行いました。



まず小笠原医師より、小児の夜尿について、夜尿の概念、年齢ごとの有病率、メカニズム、治療方法などの基本事項や、診療実績、症例提示などの話がありました。小学校に入るところからは治療をすべきこと、現在の治療方法は抗利尿ホルモン製剤による薬物療法と、

夜尿症のメカニズム

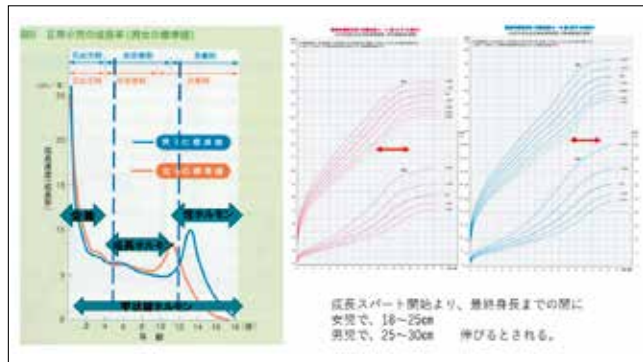


市販の装置を使用して行うアラーム療法が主であること、治療効果は期待できるものの症例の背景によっては治療が難しい例もあることなどが示されていました。

次に倉田医師より、小児の低身長、思春期早発、Ⅰ型糖尿病についての診療実績や症例提示などのプレゼンテーションがありました。臨床上のポイントとして、1) 低身長については、身長が乳児期よりどう変化してきたかを示す成長曲線の評価が、治療のタイミングや脳腫瘍などの疾患を見落とさないために重要である

小児救急部長
五十嵐恒雄

こと、2) 思春期早発については最終的に低身長となるリスクや、脳腫瘍などの疾患を背景とした例があることを踏まえ、成長曲線の評価と二次性徴の最初を捕まえることが重要であること、3) Ⅰ型糖尿病については、血糖測定、インスリン注射などに新たな機器が導入され、治療が進歩していることなどがあげられます。また、診療が高度化する中、初期研修医や専攻医に専門領域の症例をいかに経験してもらうかということや、特に糖尿病において成人年齢に達してゆく患者さんの治療をどう継続してゆくかということが課題として挙げられていました。各演題の後には重田先生から要点をついた有益な質問をいただき、議論を深めることができたのではないかと思います。



最後にこの紙面をかりて、座長の重田先生に御礼申し上げるとともに、多数の先生の参加の下に検討会を終えることができましたことを感謝申し上げます。



骨粗鬆症外来をはじめます

骨粗鬆症を理解し
高齢になっても自立した生活を送りましょう。

リハビリテーション科部長 新井 厚



我が国の骨粗鬆症患者は、1300万人以上おり、後期高齢者患者の増加によりさらに増加する可能性があります。

骨粗鬆症患者の定義は「骨強度の低下を特徴とし、骨折のリスクが増大し易くなる疾患」です。脆弱性骨折（容易な外傷による骨折）にて、脊椎骨折や大腿骨近位部の骨折をおこすと、容易に生活の質が落ち、介護生活になったりします。統計学的には死亡率の低下も認めています。また、2000年以降になり骨治療薬が大幅に進歩し骨折の可能性を低くすることができるようになりました。

骨強度＝骨密度（70%）＋骨質（30%）であり、骨質が目玉されるようになりました。鉄筋住宅で、セメントは骨密度で、鉄筋は骨質といわれます。いくら骨密度がよくても骨質が悪いと容易に骨折を起こします。

骨密度だけでは70%以下が骨粗鬆症ですが、脊椎骨折や、大腿骨近位部脆弱性骨折をおこすと、骨密度には関係なく骨粗鬆症治療の適応となり、脊椎骨折や、大腿骨近位部以外（橈骨遠位部、上腕骨近位部、肋骨、骨盤、下腿）の脆弱性骨折起こしたり、また遺伝性があるため、両親に大腿骨頸部骨折の患者がいる人も80%以下で治療適応です。身長4cm以下の低下の人はいつの間にか骨折を起こしている場合が多く注意が必要です。

骨粗鬆症のリスクファクターとして、閉経後女性、喫煙、アルコール多飲（1日2合以上）、やせすぎ、太りすぎ、ステロイド内服等もあります。骨粗鬆症になりやすい生活習慣病として、糖尿病、慢性腎疾患、閉塞性肺疾患などがあります。

骨は、破骨細胞と、造骨細胞によりたえず新陳代謝を起こしています。閉経後では、破骨細胞抑制効果のあるエストロゲンが減少し破骨細胞優位になるため骨粗鬆症になりやすいです。また、骨減少前の骨量は、思春期に規定されるため、思春期での十分なカルシウム摂取や運動は、骨量を増やし、骨粗鬆症になるのを遅らせます。

一度脆弱性骨折を起こすと骨粗鬆症である場合が多く、次の骨折連鎖が1年以内に起きる可能性が大きいです（ドミノ骨折）。脊椎体骨折を起こした患者は、次の脊椎骨折の可能性は4.5倍で円背になりやすく、大腿骨近位部骨折起こした人は、反対側2.7倍で骨折起こしやすくなります。他の部位の骨折でも、ドミノ骨折により最終的に大腿骨頸部骨折を起こすと介護の生活になる可能性大です。脆弱性骨折を起こした場合、早期に骨密度を計り、骨折の連鎖を起こさないようにするのが大切です。骨粗鬆症の治療は、薬、運動、食事と3本の矢になります。

薬としては、破骨細胞抑制剤、骨形成促進剤、Vit.D製剤などがあります。

運動療法は、有酸素運動がお勧めで、スクワット1日30回、片足立ち1分×3が、介護生活にならない運動（ロコトレ）といわれています。散歩であれば、1日8000歩以上が有用です。ダンス等跳躍を含んだ運動は骨密度増加効果が高く、不動性は容易に骨密度を下げます。

食事としてはVit.Dが一番重要です。Vit.Dは、正常の人でも50～70%不足、骨粗鬆症患者では90%以上不足しています。内服で追加するか、食事では、干しシイタケ、魚類をとったり、日光浴30分でも合成されます。腸管よりCa吸収させ、筋肉にも働き転倒予防にもなります。血中のCaを骨に沈着させるのがVit.K、納豆などに含まれます。Caは牛乳や乳製品に含まれており800mg取るのが理想です。筋肉や骨のコラーゲンのもととなるたんぱく質も重要です。



2024 年 4 月より
午後骨粗鬆症外来を行う予定です。



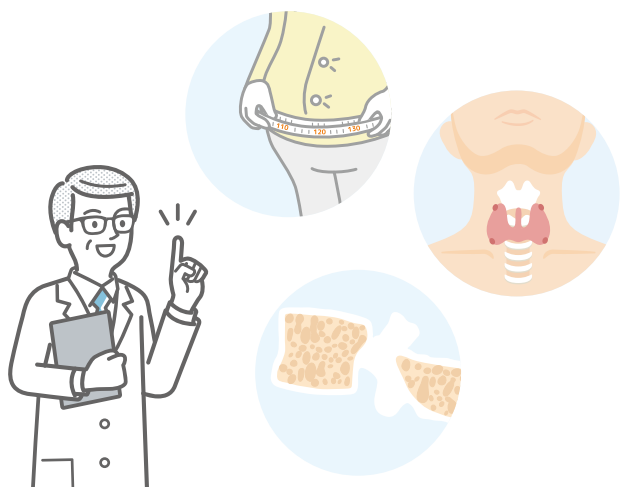
診療科紹介

内分泌代謝内科

内分泌代謝内科部長 渋谷 信行



内分泌代謝とは生体の恒常性や正常な代謝機能を保つのに必要な体の機構で、そこに異常を来した内分泌疾患の診断・治療に関わるのが内分泌・代謝内科です。下垂体、副腎、副甲状腺などの典型的な内分泌臓器の機能障害から、日常的に遭遇する糖尿病、甲状腺疾患、肥満症、骨粗鬆症などの幅広い疾患群を含みます。当科は2018年より常勤の診療科として認められ、早6年が経とうとしています。現在レジデント含め3名の医師で診療に当たっています。



これまでに下垂体機能評価、副腎皮質機能低下症、原発性アルドステロン症それぞれの精査入院パス（診療計画）を作成し診療の標準化を行いました。さらに糖尿病教育入院パス（5～7日間）、インスリン導入パス（3日間）、術前血糖コントロールパスを運用しています。医師・看護師・薬剤師・管理栄養士・理学療法士などからなる糖尿病療養支援チーム

も活動しています。教育入院患者のより良い療養支援のため糖尿病教室のクオリティコントロール・相互チェックを行い、医療安全と知識の普及を目的に院内ラウンドも行います。外来ではFGM（フラッシュグルコースモニタリング）外来、糖尿病性腎症透析予防外来を設け、看護師・管理栄養士が専門的に療養支援を行います。甲状腺穿刺検査外来もあります。

誰でもなりうる病気のひとつ糖尿病ですが、その治療の目標は糖尿病のない人と変わらない日常生活の質（QOL）の維持と寿命の確保です。そのため糖尿病で発症リスクが増加する心血管病と合併症の発症・進展を抑制することが重要です。初期には自覚症状がなく入院は要らないと思われる患者さんも多いのですが、早期に積極的な治療で高血糖を是正して糖毒性ストレスを解除し、併せて糖尿病の知識を得る教育入院は、その後の外来での治療効果を上げ、糖尿病との長い付き合いにも良い影響をもたらします。是非お勧めします。退院後治療の継続は地域のかかりつけの先生にお願いしますが、地域連携パスに沿って当科も関わります。今後も糖尿病教育入院を積極的にご活用ください。

地域の皆様の健康回復と維持に貢献できるよう今後も努力して参ります。これからもどうぞ宜しくお願いいたします。

病棟紹介

救命救急センター

救命救急センター看護師長 木村 真弥

高崎総合医療センターは、第三次救急病院として24時間積極的に救急患者を受け入れ、地域に貢献する「救命救急センター」を目指しています。29床の入院病床、救急外来、心臓血管カテーテルや内視鏡検査を行う検査室の3か所を運営しており、救急外来では、年間10,000人の救急患者と6,000台を超える救急車を受け入れています。



診療科を問わず重篤な患者さんを24時間体制で受け入れ、治療・看護を行っています。また、緊急の処置や検査にも24時間対応できる体制を整えています。

救命救急センターの平均在院日数は6日前後と短い期間ですが、短い期間でも患者さんの早期回復のため、医師・看護師・臨床工学技

士・理学療法士・薬剤師・ソーシャルワーカーなどの他職種で連携し、身体的・精神的・社会的側面から医療を提供しています。その中で、看護師は重篤な状態にある患者さんのアセスメントを行い、科学的根拠に基づいて診療の補助や合併症予防など回復に向けた看護実践を行っています。

救命救急センターには、集中治療認定看護師や特定行為研修終了看護師が勤務しています。専門的な知識・技術を持ったスタッフを中心に勉強会や研修会を開催し、スタッフ全員が患者さんに、より良い看護を提供できるよう努力しています。また、患者さんや家族の一番近くにいる医療者として、突然の発症や緊急入院による混乱など、不安に寄り添う看護を心がけています。

当院のドクターカー出動件数は年間500件以上であり、医師・看護師が同乗し現場に急行することで迅速に医療を提供し救命率の向上・後遺症の軽減に貢献しています。



栄養サポートチーム のご紹介

NST 摂食嚥下チーム長（歯科口腔外科） 稲川 元明



私たち栄養サポートチームは、医師13名、歯科医師3名をはじめ、メディカルスタッフ12職種59名の多職種で構成され、患者さんの血液検査の分析と、実際に患者さんにお話を伺いながら栄養状態の評価と適切な栄養療法を検討し、主治医とともに栄養のサポートを行っています。

現在、チームが取り組んでいることが2つあります。

ひとつめは、入院中だけでなく、入院前と退院後の栄養サポートを強化するしくみを多職種で作りました。

特に手術を受ける患者さんに対し、術前の運動と栄養を強化し、手術に耐える体づくりをしていただく目的で個別のメニューを提案しています。同意の得られた患者さんには手術前にご自宅で継続できる栄養ドリンクの飲用と運動を行い、手術に備える取り組みを行っています。また退院後も経腸栄養や静脈栄養をご自宅で継続する患者さんに対しては、NST外来に来院していただき、定期的な栄養評価を行いながら栄養療法をサポートしています。

ふたつめは、摂食嚥下障害やそのリスクのある患者さんに対し、より安全な食事が提供できるよう、チームで食形態の見直しを始めたことです。

きっかけは、歯がなくても（無歯顎または臼歯がなく咬合がない）咀嚼を必要とする通常の食事をご自宅で召し上がっている患者さんが非常に多く、食事の選択に難渋することが多くなったからです。明らかな摂食嚥下障

害の患者さんには、評価に基づき、より安全な形態調整食（当院の名称：嚥下訓練食、嚥下調整食）を提供しますが、口腔環境が整っていない患者さんも窒息や誤嚥のリスクを伴うことから、同様の対応を検討することがあります。その際、「家では普通に食べていた！」「形のあるものを食べたい」とおっしゃられ、リスクをどのようにお伝えすれば分かり合えるのか悩みます。ただ、患者さんのおっしゃられる「普通の食事」とは、「ご本人が選択もしくは調理できるやわらかいもの」であり、ここには大きな違いを感じます。しかし食事は栄養状態を維持するために必要なことであると同時に生きる楽しみのひとつでもあり、リスクばかりにとらわれて制限することは本末転倒となってしまいます。できるだけ患者さんの日常の食事に近い形で提供できるようにチームで検討を重ねていきたいと思います。

地域のみなさまや登録医の先生がたに当院の栄養サポートチームの取り組みを課題とともにお伝えさせて頂きました。みなさまと一緒に課題が解決できるよう、ご活用いただけますようよろしくお願いいたします。

本稿の執筆にあたり、板垣七奈子NST栄養サポート室長にご支援いただきました。



緩和ケア ニュース

治療と仕事の両立に関する定期相談窓口が開設されました

がん診療連携拠点病院 緩和ケアチーム



がん相談支援センターでは、「治療を続けながら、働きたい。」「会社にどのように伝えたらよいだろう?」など、治療と仕事の両立についてソーシャルワーカー・看護師がお話を伺い、相談内容に応じて関係機関との連携を図りながら、ともに考えていきます。

そして、昨年の11月から群馬産業保健総合支援センターの両立支援促進員（社会保険労務士・保健師）による出張相談が始まりました。病気の治療と仕事を両立するために生じる様々な問題や悩みについて、専門の相談員へ相談できますので、是非ご活用ください。

【定期相談窓口 開催情報】

- 場所** 高崎総合医療センター
本館2階エスカレーター横
- 日時** 第2、第4水曜日
10:00~13:00

【お問い合わせ先】

がん相談支援センター
(別館1階 患者サポートセンター [15番])
☎027-322-5017 (がん相談直通)





リハビリテーション室 だより

いつまでも美味しい食事を楽しむために

食事は栄養をとる手段であると同時に、日々の楽しみの1つでもあります。毎日の食事を楽しむことは、生活の質を高めることにも繋がります。

しかし、食事を楽しむためには飲み込む力が保たれていることが前提となります。飲み込む力の低下は様々な原因で起こり得ますが、加齢によっても引き起こされます。それは誰にでも起こり得るため注意が必要です。

なぜ加齢により飲み込みの力が低下するのでしょうか。主な原因の1つは筋力低下と言われています。食べ物を上手く飲み込むためには口やのどなど様々な筋肉が協力して動く必要があります。それぞれの筋肉が重要な役割を担っており、どれか1つが衰えても上手く飲み込むことが難しくなってしまいます。少しでも加齢による筋力低下を抑えることが今後の食生活を豊かにすることに繋がっていきます。

ここでは飲み込む力を維持するために、1人でも出来る簡単なリハビリを紹介させていただきます。

飲み込む力を維持するための運動

日頃から実践し、
年齢を重ねても食事を楽しんで
いきましょう。

① 深呼吸

大きく息を吸って口から吐きましょう。

② 首を回す

大きくゆっくりと痛みの無い範囲で回しましょう。

③ 頬の運動

頬を膨らませたり、すぼませたりしましょう。

④ 舌の運動

舌をまっすぐ前に出してから引っ込めましょう。
舌を大きく左右に動かしましょう。

⑤ 声の練習

「ぱぱぱぱ」「たたたた」「かかかか」「らららら」
それぞれをゆっくり、はっきりと声に出しましょう。

※ 注意 ※

ここで紹介したリハビリは、元々の病気や怪我の程度によっては負担が大きい場合があります。その際は医師や専門家に相談し、指導のもとで行ってください。



栄養だより

春分の日

春分の日というのは季節を表す二十四節気の1つで第4の節気です。日本では国民の祝日としていて、この日を境に前後3日間を合わせた7日間を春のお彼岸として定めています。国民の祝日として「自然をたたえ、生物をいつくしむ」という意味を込め、制定されました。このことから、この日と関わりのある行事としてお彼岸のお墓参りをするというのが習わしとしてあります。



春分の日食べる料理

春分の日の代表的な食べ物と言えば「ぼたもち」です。春のお彼岸に「ぼたもち」をお供えてご先祖様のお墓にお参りします。「ぼたもち」に使われている小豆の赤色には、災厄から身を守る効果があると言い伝えられていることから、邪気を払うという信仰が先祖の供養に結びついて、お彼岸に「ぼたもち」という習慣が始まったとされています。江戸時代の頃に庶民たちがはじめ、そのまま日本全国に広まったと言われています。(諸説あり)

ちなみに、「おはぎ」と「ぼたもち」は基本的には同じものです。漢字で書くと「牡丹餅(ぼたもち)」「御萩(おはぎ)」となります。春分の日「牡丹餅」を食べるか、秋分の日「御萩」を食べるかによって呼び名が変わってきます。



出典：春の和菓子ぼたもち-農林水産省

https://www.maff.go.jp/j/keikaku/syokubunka/culture/wagohan/articles/2302/spe14_04.html

医師紹介

当センターの医師を紹介します。



麻酔科集中治療科

しづや あやこ
渋谷 綾子

はじめまして。高崎総合医療センター麻酔科集中治療科の渋谷綾子と申します。

大学を卒業後は麻酔科を志し、県内、県外の病院で診療をさせていただきながら研鑽を積んでまいりました。当院には2020年からの勤務となり、早いもので4年目となりました。以前にも1年間だけ当院で勤務させていただきましたが、その頃の手術室は6部屋しかありませんでした。現在は12部屋と増えており、予定手術に加え緊急手術も多く、大変忙しいですがやりがいを感じております。また、手術麻酔以外にも集中治療室での全身管理も行っております。患者さんが少しでも良くなって集中治療室を退室し、退院できるよう微力ながらサポートできればと思っております。至らぬ点多々あるとは思いますが、今後ともよろしくお願いいたします。



整形外科

いちのせ つよし
一ノ瀬 剛

2019年より当院の整形外科に赴任した一ノ瀬 剛と申します。以前は大学病院で専門的診療に従事していたため、赴任当初は10年ぶりに診る一般整形外傷に戸惑う日々でしたが、最近では大分勘を取り戻しつつあります。整形外科としての専門である肩関節疾患の診療についても近隣の病院から多数のご紹介をいただき、上腕骨の骨折に対する内固定手術、腱板断裂や脱臼に対する関節鏡手術、変形性肩関節症に対する人工関節手術を行っております。

少子高齢化が進む現代では「日常生活動作能力の維持」は生活を行う上で重要な因子です。整形外科はこの「日常生活動作能力の維持」を主眼とした治療を行う科でもあるため、今後も医師としての研鑽を積み、多くの人が生活しやすい身体機能の維持、改善が出来るよう、治療に携わりたいと思います。

地域医療連携登録医 のご紹介

地域医療連携登録医の皆さまとパートナーシップを組んで診療に取り組んでいます。

土屋内科医院



院長あいさつ

勤務医時代は、肺がんを中心にぜん息・肺気腫・慢性気管支炎や間質性肺炎などの呼吸器疾患の診療に従事してきました。今までの知識・経験を活かし、専門医療だけではなく、広く地域医療に貢献したいと思っております。よろしくお願いいたします。



土屋内科医院
院長

土屋 智

副院長

土屋 友規子



マルチスライスCTやX線写真（CR）・電子内視鏡（胃カメラ）など最新の設備を導入し、正確な診断・治療とともにわかりやすく丁寧な説明を心がけております。

スタッフも明るく・親切な対応を心がけております。

CTによる肺ドック・肺がん検診は随時、セカンドオピニオン外来・禁煙外来は予約制となっております。

診療科・病院案内

内科・呼吸器内科・消化器内科

受付時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00～11:30	一般	一般		一般	一般	一般	
11:30～12:30	発熱	発熱		発熱	発熱	発熱	
15:00～16:00	一般	一般		一般	一般	14:00～	
16:00～17:00	発熱	一般		発熱	発熱	16:00	
17:00～18:00	一般	一般		一般	一般		

発熱外来

原則として発熱対応の時間帯にご来院いただきます。
火曜・土曜の午後は発熱対応はしておりませんのでご了承ください。

群馬県高崎市問屋町2-1-1 TEL: 027-360-3555

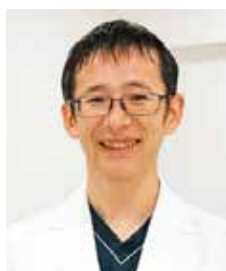
<https://tsuchiyacl.jp>

はなまる消化器内科クリニック

院長あいさつ

専門領域である消化器内視鏡、消化器内科診療のほか、地域の総合診療医として、皆様の日々の健康に寄り添う医療をご提供することを目指しております。

患者様ひとり一人に寄り添い、患者様の生涯にわたる健康のお手伝いができるよう、スタッフ一同努めております。



はなまる消化器内科
クリニック

院長

飯塚 賢一



診療科・病院案内

消化器内科・内科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前(9:00～12:00)	●	●		●	●	●	
午後(15:00～18:00)	●	●		●	●	●	

群馬県前橋市鶴光路町343-1 TEL: 027-212-0560

はなまる消化器内科クリニックは、感冒や頭痛をはじめ、ふだんの暮らしの中で起こりやすい健康のお悩みから、健康診断、消化器疾患、生活習慣病、特定疾患に指定される難病の炎症性腸疾患の治療まで、幅広く診察しております。お身体の不調や健康に関するお悩みのある方は、お気軽に当院へご相談ください。

セカンドオピニオンのご案内

当センターではセカンドオピニオン外来を実施しております。
概要につきましては以下のとおりです。

01 対象患者さん

- 現在当センター以外の医療機関で診療を受けている患者さん、ご家族
- 現在の主治医（他医療機関）の診断及び治療方針について、当センター医師に参考意見を求め、患者さんご本人が自らの疾患をより理解し適切な診療を選択する等の為に、セカンドオピニオン外来の活用を望む方
- 主治医（他医療機関）からセカンドオピニオンを目的とした紹介状及びフィルム等の検査資料を当院に提供可能な患者さん、ご家族であることを要します（主治医にセカンドオピニオンを受けるための紹介状等をお願いすれば対応してもらえます）
- 相談者をご家族の場合は、原則として患者さんの同意を得た場合といたします

02 実施診療科

【各科の専門医が対応いたします】

内科、精神科、呼吸器内科、消化器内科、心臓血管内科、
小児科、外科、乳腺・内分泌外科、心臓血管外科、
脳神経外科、呼吸器外科、産婦人科、泌尿器科、
眼科、放射線診断科、放射線治療科、歯科口腔外科



予約方法

完全予約制 代表電話：027-322-5901

※代表にお電話を頂き、『セカンドオピニオン係』とお申し付け下さい

【受付時間】 月曜～金曜 8時30分～17時の間

※精神科の受付時間は 月曜～金曜 8時30分～12時迄 となります

※事前にご予約電話を受け付け、担当専門医と日程調整を行った後に折り返し
当センターより連絡させていただきます

外来時間

セカンドオピニオン外来時間（診療科によって曜日は異なります）

月曜～金曜 13時30分から15時30分の間で調整

費用

30分以内 5,500円（消費税込み）

30分以上 11,000円（消費税込み）

セカンドオピニオンとは

セカンドオピニオンとは現在の自分の病状や治療方針について他の医師の意見を求めることをいいます。

医療が進歩してさまざまな治療法が生まれています。

その結果、医師によって病気に対する考え方が違うことや、病院によって医療技術や診療の質に差があることも考えられます。治療法について具体的な比較ができ、より適した治療法を患者さん自身が選択することができます。

当センターでは、よりよい治療法を患者さん自身が選択できるように、セカンドオピニオンを積極的に勧めております。

セカンドオピニオン 外来担当表

科 名	医師名	専 門	曜 日
内 科	佐藤 正通	内科全般、血液内科	火
精 神 科	井田 逸朗	がんのメンタルヘルス	木
呼 吸 器 内 科	中川 純一	呼吸器全般	火、金
消 化 器 内 科	長沼 篤 増田 智之	消化器病一般、肝臓病 食道、胃、大腸	随時
心 臓 血 管 内 科	広井 知歳 太田 昌樹 福田 延昭	狭心症・心筋梗塞の治療（カテーテル治療） 不整脈一般 心不全、弁膜症	金 水 木
小 児 科	五十嵐 恒雄	小児科全般・未熟児・新生児	水
外 科	坂元 一郎 家田 敬輔 平井 圭太郎 宮前 洋平	消化器外科全般 上部消化管 肝臓、胆のう、膵臓 下部消化管	水 水 水 水
乳腺・内分泌外科	鯉淵 幸生 高他 大輔	乳がん全般・甲状腺外科 乳がん全般・甲状腺外科	随時 随時
心 臓 血 管 外 科	小谷野 哲也	心臓血管の外科治療	火、木、金
呼 吸 器 外 科	伊部 崇史 高坂 貴行	肺がん、縦郭腫瘍、呼吸器外科全般 肺がん、縦郭腫瘍、呼吸器外科全般	木 火
脳 神 経 外 科	田中 志岳 笹口 修男 佐藤 晃之	脳腫瘍 水頭症、脳外科一般 血管障害	月 木 金
産 婦 人 科	伊藤 郁朗	婦人科腫瘍	月、火、金
泌 尿 器 科	柴田 康博	泌尿器科全般	火
眼 科	土屋 明	眼科全般（眼腫瘍を除く）	水、木
放 射 線 診 断 科	根岸 幾 佐藤 洋一	画像診断CT・MR中心 画像診断CT・MR中心	木 火
放 射 線 治 療 科	永島 潤	悪性疾患の放射線治療	
歯 科 口 腔 外 科	稲川 元明 柴野 正康	口腔顔面痛 口腔外科全般、顎変形症、インプラント	火、水、木、金 月、火、木、金

外来診療担当表

当センターは、地域医療支援病院として運営しております。
かかりつけ医の先生からの紹介状をご持参願います。

	月	火	水	木	金
総合診療科・内科	佐藤 正 通	佐藤 正 通 予約のみ	(田 村 耕 成) 予約のみ	佐藤 正 通 (合 田 史) 午後：予約専門外来	佐藤 正 通 植原 大 介
栄養食事指導外来		佐藤 正 通 午後			
内分泌代謝内科	渋 沢 信 行	倉 林 理 紗 (植原 正 也)	植原 良 太 倉 林 理 紗	渋 沢 信 行 午後	渋 沢 信 行 植原 良 太
神 経 内 科	椎 名 葵 (池 田 雅 美) 午前	平 柳 公 利	平 柳 公 利 初診のみ 唐 澤 将 紀	柴 田 真	清 水 一 輝
呼 吸 器 内 科	中 川 純 一 (星 野 裕 紀) 午前	細 野 達 也 内 田 恵	田 口 浩 平 小 林 頂	中 川 純 一 竹 村 仁 男	細 野 達 也 内 田 恵
消 化 器 内 科	長 沼 篤 午前	星 野 崇 午前	柿 崎 暁 午前	長 沼 篤 午前	星 野 崇 午前
	安 岡 秀 敏 午前	鈴 木 悠 平 午前	安 岡 秀 敏 午前	増 田 智 之 午前	佐 野 希 望 午前
	上 原 早 苗 午前	佐 野 希 望 午前	増 田 智 之 午前	鈴 木 悠 平 午前	田 村 優 樹 午前
	相 原 幸 祐 午前	相 原 幸 祐 午前	鎗 木 琢 也 午前	古 市 望 午前	(小 林 倫 太 郎) 午前
	(石 原 弘) 午後 (廣 田 董) 午後		(石 原 弘) 午後 (小 林 倫 太 郎) 午後		(廣 田 董) 午前
上部内視鏡検査	星野 / 増田 / 田村	安岡 / 増田 / 古市	上原 / 佐野 / 相原	上原 / 佐野 / 相原	長沼 / 鈴木 / 鎗木
心臓血管内科 (循環器)	太 田 昌 樹 午前：通常 / 午後：不整脈外来 村 田 智 行 午前 瀬 田 博 貴 第1, 3週午前	石 橋 洋 平 午前 高 橋 伸 弥 午前	広 井 知 歳 午前 太 田 昌 樹 午後：不整脈外来 羽 鳥 直 樹 午前	福 田 延 昭 午前 高 橋 洋 右 第1, 3週午前 千 吉 良 彩 花 第2, 4週午前	太 田 昌 樹 第2, 4週午後：ペースメーカー外来 小 林 紘 生 午前：通常 / 午後：不整脈外来 柴 田 悟 午前
新患外来(午前)	高 橋 伸 弥	柴 田 悟	村 田 智 行	羽 鳥 直 樹	石 橋 洋 平
心不全予防外来		第2, 4週午後			
精 神 科	井 田 逸 朗 山 崎 雄 高 午前	井 田 逸 朗 山 崎 雄 高 午前	井 田 逸 朗 山 崎 雄 高 午前	井 田 逸 朗 山 崎 雄 高 午前	井 田 逸 朗 山 崎 雄 高 午前
小 児 科	五十嵐 恒 雄 午前	五十嵐 恒 雄 午後	五十嵐 恒 雄 午前	倉 田 加 奈 子 午前	五十嵐 恒 雄 午後
	内 田 亨 午前	倉 田 加 奈 子 午前	倉 田 加 奈 子 午後	植 原 実 紅 午後	佐 藤 幸 一 郎
	田 口 未 奈 午後	斎 藤 淑 人 午後：第1, 2, 3, 5週のみ	佐 藤 幸 一 郎 午後	東 野 允 奎 午後	小 笠 原 聡 午後：第1, 2, 4, 5週のみ
	前 原 孝 午後 (荒 川 篤 康) 午前	(神 尾 綾 乃) 第4週午後	(滝 沢 琢 己) 第2, 4週午後 <乳 児 健 診> 午前	(西 澤 拓 哉) 午後 (岩 脇 史 郎) 午前	(浅 見 雄 司) 第3週午後のみ
小 児 外 科	(西 明・高澤慎也) 第1, 3週午後	(西 明・高澤慎也) 第4週午後			
外 科 (消化器)	坂 元 一 郎 午前：通常 / 午後：肝胆脾専門外来 齊 藤 秀 幸 午前：通常 / 午後：食道専門外来	小 川 哲 史 午前 星 野 万 里 江 午前 小 川 哲 史 午前	家 田 敬 輔 午前：通常 / 午後：上部消化管専門外来 生 方 泰 成	平 井 圭 太 郎 午前：通常 / 午後：肝胆脾専門外来 井 田 晃 頌 午前	宮 前 洋 平 午前：通常 / 午後：下部消化管専門外来 齊 藤 裕 紀 乃 午前
栄養サポート外来					
禁 煙 外 来					
ス ト ー マ 外 来			第2, 4週午後・予約	予約	
泌 尿 器 科	井 上 雅 晴 栗 原 聰 太 午前	栗 原 聰 太 柴 田 康 博 午前	交 代 制	柴 田 康 博 午前：通常 / 午後：不妊外来 井 上 雅 晴 午前	交 代 制

01 外来診療受付時間

8:30~11:00まで

(予約の場合は最終予約時間まで)
※再来受付機は8:00から受付しています

- 紹介状をお持ちの方、紹介事前予約の方は、1番：紹介状をお持ちの方・地域医療連携窓口で受け付けております。
- 当センター受診にはかかりつけ医の先生からの紹介状をご持参ください。紹介状をお持ちでない方は、診察をお受けできない場合や、長時間お待ちいただく場合がございます。
- 精神科の初診の患者さんは完全予約制となります。精神科外来までご連絡をしていただき、来院日のご予約をお願いいたします。
- 受診時にはお薬手帳、薬剤情報提供書または飲んでいるお薬をご持参ください。

02 休診日

土、日、祝日、年末年始

- 学会等により、休診または医師が交替する場合があります。院内掲示もしくはホームページをご覧ください。

地域医療支援・
連携センターから
地域の先生へお願い

当センターへの紹介の際は、
地域医療支援・連携センターを通した
事前予約にご協力下さい。

令和6年3月1日現在

	月	火	水	木	金
疼痛緩和内科 看護相談外来	田中俊行	田中俊行	田中俊行	田中俊行	田中俊行
乳腺・内分泌外科	鯉淵幸生 午前 徳田尚子 午前 成澤瑛理子 午前	鯉淵幸生 午前 高他大輔 午前 徳田尚子 午前 成澤瑛理子 午前	鯉淵幸生 午前 高他大輔 午前 徳田尚子 午前	(荻野美里) 第2,4週午後 (田邊恵子) 第1,3,5週午後 交代制 午前・予約	高他大輔 午前 徳田尚子 午前 成澤瑛理子 第1,3,5週午前 第2,4週午前
心臓血管外科	<手術日>	交代制 午後	<手術日>	小谷野哲也 午前 羽鳥恭平 午後	茂原淳 午前
呼吸器外科	<手術日>	伊部崇史 高坂貴行	<手術日>	伊部崇史 高坂貴行	<手術日>
整形外科	荒毅 信太晃祐 遠藤史隆	大澤敏久 大島淳文 都築俊平	荒毅 信太晃祐 一ノ瀬剛 都築俊平	新井厚 午後 遠藤史隆 <手術日>	大澤敏久 一ノ瀬剛 大島淳文
形成外科	交代制 <手術日>	中村英玄 都丸奈々 午後	中村英玄 午前 都丸奈々 午後	<手術日> 都丸奈々 午前	中村英玄 午前 <手術日> 午後
脳神経外科	田中志岳	齋藤貴寛	<手術日>	笹口修男	佐藤晃之
皮膚科	上原顕仁 午前 (井上千鶴) 午前	岡田悦子 午前 (石川真衣) 第1,3,5週午前	岡田悦子 午前 上原顕仁 午前	岡田悦子 午前 上原顕仁 午前	岡田悦子 午前 上原顕仁 午前
産婦人科	伊藤郁朗 黒住未央 東杏莉	青木宏 黒住未央 周藤周	<産後健診>	(金井眞理) 午前 塚田蓉子 午前	伊藤郁朗 青木宏 東杏莉
遺伝性腫瘍外来				伊藤郁朗	
眼科	土屋明 紹介・予約	土屋明	土屋明	土屋明	土屋明
眼形成眼窩外科	笠井健一郎 <手術日>	笠井健一郎 <手術日>	笠井健一郎	笠井健一郎 <手術日>	笠井健一郎
耳鼻いんこう科	高橋克昌 岡宮智史	岡宮智史	<手術日>	高橋克昌	高橋克昌 岡宮智史 午前
放射線治療科	永島潤 弓崎晃	永島潤 弓崎晃	永島潤 弓崎晃 (大高建) 午前	永島潤 弓崎晃	永島潤 弓崎晃 (富澤建斗) 午前
歯科口腔外科	柴野正康 紹介・予約	<手術日>	田中斉 紹介・予約	柴野正康 紹介・予約 田中斉 紹介・予約	<手術日>
新患外来	田中斉 紹介・予約		柴野正康 紹介・予約	交代制 紹介・予約	
歯科(歯科麻酔) 摂食嚥下・口腔ケア外来	稲川元明 第1,3,5週のみ、紹介・予約 渡邊真央 紹介・予約 倉持真理子 紹介・予約	稲川元明 紹介・予約 倉持真理子 紹介・予約 (荒井亮・辻野啓一郎) 第2,4週のみ、紹介・予約	稲川元明 紹介・予約 倉持真理子 紹介・予約	稲川元明 紹介・予約 渡邊真央 紹介・予約	稲川元明 紹介・予約 倉持真理子 紹介・予約

()の医師は非常勤です。

03 予約について

当院は「医療機関からの紹介患者事前予約制」をとらせていただいております。

医療機関様にはお手数をおかけしますが、予約の際には「事前予約申込書」に必要事項を記載し、地域医療支援・連携センターへFAXにてご依頼ください。折り返しお電話で予約日時の連絡をさせていただきます。

※分娩希望についてはこの限りではありません。

※心臓血管内科は平日8:30~11:00までに紹介状を持参のうえ来院していただきますと当日受診が可能です。

※消化器内科で早めの対応が必要な患者さんは平日11:00~15:00までに紹介状を持参のうえ来院していただければ対応させていただきます。(予定での紹介が可能な患者さんは地域医療支援・連携センターを通しての予約をお願いします。)

04 連絡先

高崎総合医療センター内 地域医療支援・連携センター

医療機関専用ダイヤル: 027-322-5835 《平日 8:30~18:30 / 土曜日 8:30~17:15》

FAX: 027-322-5925 《FAXは24時間受け付けています。お返事は翌営業日になります》

院長閑話

vol.33

わが青春の銀幕スター

院長 小川 哲史



先月の院長閑話を読んでくれた方々から「ゴジラー 1.0」の感想やら昔の思い出などいただき、また米国では S. スピルバーグが3回も観て絶賛しているというニュースも伝わってきました。やっぱりゴジラの人気はすぐ世界的なヒーローなんだと実感しました。この勢いだと3月11日発表のアカデミー賞を取るでしょうか？ところで、楽しみにしていたモノクロ版の「ゴジラー 1.0/C」、残念ながら観そびれました…。

私は高校時代に映画部に属していて、よく映画を観に行きました。映画部の部員は、洋画専門に上映していた桐生市内の映画館「オリオン座」のチケットを学校で売る代わりに、映画館のフリーパスがもらえ、無料で映画が観られました。今考えるととんでもないことですが、当時でも学校に知られたら厳重注意程度では済まず、停学や廃部だったかもしれませんね。映画を作ったことは一度だけで、映画部の同級生が文化祭用に脚本を書いた15分くらいの8ミリ映画で、題名は「あの娘と俺たち」。なんと陳腐なタイトルのいわゆる青春学園もので、しかも私は可憐で美しい憧れの女子高生にフラれる役。いまだに思い出すと赤面します…。

さて、日本映画の最高傑作というと、すぐに「七人の侍」が思い浮かびます。映画の中に様々な要素、ストーリーが織り込まれていて、特に豪雨の中での最後の決戦シーンは永遠に色あせない最高のシーンだと思います。黒沢映画はどれも面白いですが、「羅生門」や「用心棒」など、昔のモノクロの時代劇が特にいいですね。監督自身が最も脂がのっていた時期で、そして若き日の三船敏郎の躍動感が素晴らしい。侍を演じたら彼以上の俳優はいないでしょうね。そもそも侍役は中肉中背でなければダメで、身長が180cmを超えるような長身でしかも筋骨隆々では、それだけでミスキャストだと思います。侍役が似合う現代の俳優は真田広之と岡田准一でしょうか。

大学を卒業後は映画館に足を運ぶことも少なくなり、特に最近の映画は全くよくわかりませんが、映画好きの若者の参考までに、個人的に思い入れのある「わが青春の洋画ベスト10」を考えてみました。

⑩ロミオとジュリエット：当時15歳だったオリビア・ハッセーの無垢で豊満な美しさに魅了されます。⑨燃えよドラゴン：ストーリーはイマイチだが、ブルース・リーの魅力爆発です。しばらく頭の中は「アッチョー」一色。⑧狼たちの午後：展開が面白くアルパチーノのぎょろ目に圧倒されます。⑦アメリカングラフィティ：1960年代初頭のアメリカの一地方の高校卒業時の一夜の物語。若かりし頃のリチャード・ドレイファスがいい感じで、今でも映画の中で使われた曲を聴くと胸にジーンときます。⑥ゴッドファーザー、同パートⅡ：いわずと知れた名優達の名演技。逆光の室内など暗めの画面と全体を通して流れるBGMと相まって、静かな哀しみが心に残ります。⑤真夜中のカーボーイ：なんといってもダスティン・ホフマンが素晴らしい。その名演技に感動必至です。④スティング：知的でダンディ、イケメン俳優二人（ロバート・レッドフォード、ポール・ニューマン）の最高のコンビで、映画の楽しさを教えてくれます。③明日に向かって撃て：同前の共演で、特にラストシーンが秀逸。②タクシードライバー：デ・ニーロがああの時代の都会の暗い狂気を見事に演じ、映画の世界に引き込まれます。①エデンの東：これぞ究極のジェームス・ディーン！彼こそは唯一無二で永遠の銀幕スターです。

そして、あの頃の映画のテーマ曲はどれも素晴らしかった。今でも曲を耳にするとあの頃の思いが鮮やかに切なくよみがえります。昭和の頃、地方の少年にとって世界ははるかに遠く、欧米の銀幕スターはまさに雲の上の存在でした。そんな時代の1980年、なんと！オリビア・ハッセーと布施 明が結婚しました。日本中の男性に様々な思いのこもった強い衝撃が走りしました。

(2月19日)

Information

行事などのお知らせ

第44回地域連携症例検討会

眼形成眼窩外科領域疾患の
診断と治療の連携

日時：2024年3月19日(火)
18:45～20:00

演者：高崎総合医療センター

眼形成眼窩外科部長 笠井 健一郎

対象：医療従事者

高崎総合医療センターよりWEB配信

※申し込み必要

第138回カンサーボード

日時：2024年3月28日(木)
18:00～

診療科：耳鼻咽喉科

会場：高崎総合医療センター 講堂

対象：医療従事者

※申し込み不要

登録医の先生方からのご寄稿・ご意見をお待ちしております。
地域医療支援・連携センターまでご連絡をお願い致します。

電話 **027-322-5835** (医療機関専用ダイヤル)

ホームページより本冊子のバックナンバーをご覧頂けます

<https://takasaki.hosp.go.jp/kouhoubackno.html>

検索

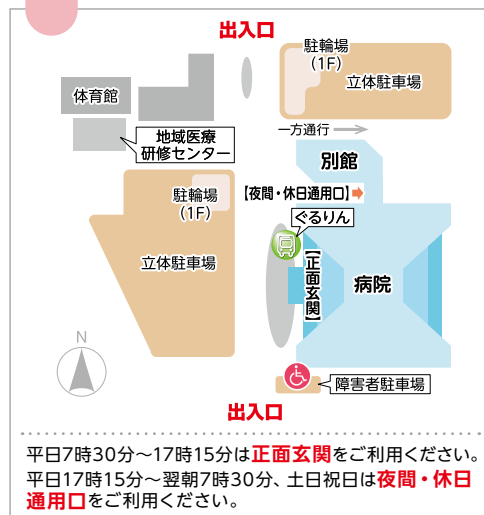


Facebook



Instagram

高崎総合医療センター案内図



独立行政法人国立病院機構

高崎総合医療センター